

ては生徒が自分の特性について認識を深め、将来の生き方を見据えた進路選択能力を発揮することができるよう、進路相談や情報の提供、体験入学の実施に努め、指導の充実を図ってまいります。

◎ **学校施設整備**

学校施設整備につきまして、学校給食6施設の建設に着手し、平成25年度一斉開始に向けて一連の準備に入りたいと存じます。

また、厚賀中学校の耐震補強工事（繰越明許事業）を実施することで、全ての学校の耐震化が終了いたします。

小学校教育用コンピュータ整備につきまして、年次計画により、本年厚賀小学校を更新整備するほか、引き続き各学校の施設設備の安全点検と補修、理科教材や図書備品の整備など教育環境の整備拡充に努めてまいります。

**高校教育と
産業学習制度**

◎ **日高高校・
産業学習推進制度**

次に高校教育と産業学習推進制度について申し上げます。

高等学校の再編・統廃合、学区の拡大等、道教委が行う適正化計画が更に進み、又新しいタイプの高校の増加など、高等教育を取り巻く環境は大きく変化しており、このような状況の中で、生涯学習社会における多様なニーズに応える高等教育の機関として、我が町の定時制高校の存在は重要であると認識しております。

日高高校におきましては、全国に誇れるユニークで特色ある教育活動として定着した「産業学習推進制度」との連携・融合をさらに進めてまいります。

校舎の整備に関しましては、本年度「日高高校校舎改築検討委員会」を設置し、改築に向け、具体的な検討協議を進めてまいります。

生徒の確保につきましては、なお厳しい状況は続くものと思いますが、新たな高等学校への支援策の検討、現在進めていますコース制の検証を通してより魅力ある高等学校とし、来年度の生徒募集に向けて積極的な広報・募集活動を行ってまいります。

教育委員会主催事業としての産業学習推進制度（日高高等学校入学必須条件）は、高校の存続と、多くの体験学習を通してたくましい人格形成が図られる人材育成など、特色ある事業として定着し、地域振興を図る上でも多くの成果を挙げてきたところであります。

入講生募集につきまして、高等学校と連携し、積極的な募集活動を実施してまいりました。平成24年度入講予定者は、現在8名が決定しております。今後、産業学習推進制度入講生2次募集を実施し、最終的には二桁の入講生の確保に努めてまいります。

**社
会
教
育**

次に、社会教育について申し上げます。

社会教育は、生涯学習の中核的な役割を担うことから、町民の学習意欲や参加意欲に応えることが大切であります。

今年度より第一次日高町社会教育中期計画に基づき「いきいきと働き、学び、安心と笑顔で暮らせる町づくり」を目指し、日高町総合振興計画との整合性を図りながら、地域の発展と文化創造を担う人材育成や町民が生きがいを持つて学びあうことができる生涯学習の推進、充実に努めてまいります。

◎ **家庭教育**

家庭教育についてですが、家庭教育は、すべての教育の出発点であり、近年都市化や少子化などに伴い家庭教育力が低下しているのではないかと懸念されており、このようなことから各種の

学習機会を提供するにあたっては、具体的な学習テーマ、開設形態、事業の実施方法などについて、より多くの参加者が得られるように地域住民の学習需要と学習意欲の状況を的確に把握し、反映させることが重要であると考えています。

また、様々な体験の機会を通じて、子どもたちが日常的に自主性や協調性を培うことが出来るよう、支援、提供をしてまいります。

◎ **青少年教育**

青少年教育についてですが、次代を担う心豊かな、たくましい子どもたちを育むためには、家庭・学校・地域社会の連携、協力が大切であります。その育成につきましては、体験活動の充実に努めるとともに、地域子ども会などの青少年育成団体への情報提供、相談体制の充実を図ります。青少年の健全育成、安全、安心な子どもの活動拠点を設ける事業として「放課後子ども教室推進事業」を本年度も実施してまいります。また、地域住民が学

校ボランティアとして活動する「学校支援地域本部事業」につきまして今年度も引き続きその推進に努めてまいります。

◎成人教育

成人教育につきましては、自己の啓発、向上を図ろうとする、一人一人の意欲と自主性を動機づける学習活動を促進する必要があると考えます。

そこで成人の特徴を的確にとらえ、成人期に必要なとされる学習機会の情報提供に努め支援してまいります。

また、学習を通じて得た知識や技能を他者の成長のために提供する活動（生涯学習ボランティア）の振興を図り、共に生きる地域社会、共に学ぶ生涯学習社会の形成に努めてまいります。

◎高齢者教育

高齢者教育につきましては、高齢者同士が共に支え合うという考えやそれを支える体制づくりが特に大切なことでもあります。

そこで若い年代や地域との

つながりを密接にし、各自の高齢期に対して関心を持てるような学習機会を提供してまいります。

そのため引き続き高齢者大学「ことぶき学園」「沙流川大学」を通して積極的に趣味、特技を磨くとともに、教養を高め、生きがいを創出できよう支援をしてまいります。

◎文化活動の振興

文化活動の振興につきましては、町民の方々へ心に安らぎと潤いをもたらす、音楽、演劇、美術、文芸活動が文化団体や愛好者等を中心に行われていることから、更なる支援、充実を図ってまいります。

更には、民間活力（新しい公共）の導入や町民主体の事業、企画、運営あるいは協働による個性に満ちた、芸術鑑賞や文化講演会など町民の学習機会の拡充に努めてまいります。

図書館郷土資料館、山脈館の整備、充実については、生涯学習の情報拠点として、資料の充実、情報化の推進、他

機関との連携、協力を推進するとともに、町民の多様なニーズに対応したサービス向上を目指してまいります。

また、国、北海道の指定を受けた有形、無形の貴重な郷土の文化財や文化遺産を保護、保存し後世に伝えるためにも資料の収集、整理についても適切に対応してまいります。

◎スポーツの振興

スポーツ振興についてであります。近年、日常的に「自分の健康は自分で守る」という自主的な健康づくりに取り組む活動が見受けられるようになりましたが、児童、生徒につきましては、体力の低下が指摘されています。これは、食生活や生活環境の変化によることが考えられます。

このことから、生涯各期における体力、健康の保持・増進等、目的に応じた活動に取り組むことができるようスポーツに親しむ機会の提供や健康、体力づくりの促進に努めてまいります。

さらには、町の生涯スポーツ振興の中核を担っているス

ポーツ少年団体、体育団体との連携のもと地域の特性を生かしつつ、あわせて総合型地域スポーツクラブの活性化及び魅力ある地域づくりを進めてまいります。

◎社会教育事業の広域化

社会教育事業の広域化につきましては、他町との合同開催が可能かつ、効果的な展開が見込める事業は、従来通り推進し、他町住民との交流機会の拡充を図ってまいります。

社会教育、スポーツ施設は、地域住民にとって最も身近な学習拠点であり、住民の多様な学習活動を支援するとともに、それぞれの地域における学習課題に的確に対応する役割を果たしています。

このためさらに、地域住民の学習に対する多様性、専門性、継続性を目指し、その機能を発揮していくために、町民の要求、課題や時代の変化を見通し、意識の高揚とその支援に努めてまいります。

◎施設の整備

また、施設の老朽化に伴い、修繕や改善の必要な箇所を把握し、計画的に整備を進めてまいります。

なお、本年度は、門別総合町民センター耐震実施設計、日高地区にあつては森の広場サッカー場1面を増設し、国立日高青少年自然の家合宿利用者の増、サッカー大会の規模の拡大等更なる連携と利用促進を図ってまいります。

以上、平成24年度の教育行政の執行に関する主要な方針について申し上げます。

ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「知・徳・体」を
バランス良く
育む教育